

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-154769(P2008-154769A)

【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2006-346607(P2006-346607)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の前面に形成され、発射手段から発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、該遊技領域に設けられた始動口と、該始動口に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを判定する利益付与判定手段と、該利益付与判定手段による判定がなされたことに基づいて複数種類の図柄情報の可変表示を開始して所定期間経過後に所定の表示結果を導出表示可能な演出表示装置と、を備え、前記利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたことに基づいて前記演出表示装置に特定の表示結果を導出表示する遊技機であって、

前記遊技領域に配設され、遊技球の受け入れが可能な開放状態と遊技球を受け入れが困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口開閉装置と、

前記大入賞口開閉装置を開閉制御する処理を複数回繰り返し実行することにより前記利益付与状態の制御を行う利益付与状態制御手段と、

前記利益付与判定手段の判定結果に基づいて前記演出表示装置に導出表示する表示結果としての図柄情報を決定する表示結果決定手段と、

該表示結果決定手段の決定結果に基づいて前記演出表示装置を表示制御する表示制御手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定される確率が通常よりも高い高確率状態に制御する高確率制御手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定されたときに、前記利益付与状態の終了後に前記高確率状態に制御するか否かを判定する高確率制御判定手段と、を備え、

前記表示制御手段は、

前記利益付与状態を終了するときに当該利益付与状態を終了することを報知する終了報知手段と、

前記演出表示装置に前記図柄情報の表示結果を導出表示するときに、前記表示結果決定手段によって決定された図柄情報を、高確率状態に制御されている割合の高低を示唆する複数種類の図柄態様のうちいずれかで表示制御する図柄態様表示手段と、

前記演出表示装置にて前記図柄情報の可変表示を開始するときに前記図柄態様表示手段によって表示制御する図柄態様を前記複数種類の図柄態様のうちいずれかに決定する図柄

態様決定手段と、を含み、

前記終了報知手段は、前記高確率状態に制御するか否かに拘らず同一の終了演出を実行し、

前記図柄態様決定手段は、前記高確率制御手段によって前記高確率状態に制御しているとき、前記高確率状態に制御していないときよりも高い割合で、前回の可変表示の際に決定された図柄態様よりも当該可変表示の図柄態様の方が高確率状態に制御されている割合が高いことを示唆するものとなるように、当該可変表示の図柄態様を決定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記利益付与判定手段の判定結果に基づいて前記図柄情報の可変表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでの可変表示期間を決定する可変表示期間決定手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定されたときに、前記可変表示期間決定手段によって通常の可変表示期間よりも短い可変表示期間に決定する時短状態に制御するか否かを判定する時短制御判定手段と、を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記図柄態様表示手段は、前記図柄態様決定手段によって決定された図柄態様を表示制御するタイミングを複数種類のタイミングのうちいずれかに決定する表示タイミング決定手段を含むことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。